

学校情報

①学校の概要、目標及び計画

学校名	設置年月日	校長名	所在地・連絡先
名古屋リゾート＆スポーツ専門学校	平成9年3月31日	岩田 博文	〒451-0044 愛知県名古屋市西区菊井二丁目16番6 (電話)052-561-1300
設置者名	設置年月日	代表者名	所在地・連絡先
学校法人 三幸学園	昭和60年3月8日	鳥居 敏	〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151
学校の教育・人材養成の目的			
本校は、教育基本法に則り、学校教育法に従い、健康運動実践指導者、スポーツ施設における適正運動指導担当者、リゾートスポーツインストラクター等、社会体育に従事しようとする者に必要な知識・技能を教授し、明日の健康産業及びリゾート産業を担う人材を養成することを目的とする。			
沿革	http://www.sanko.ac.jp/about/history/		

②各学科等の教育

学科	修業年限	入学定員	収容定員
スポーツインストラクター科	2年	80人	160人
スポーツトレーナー科	2年	80人	160人
スポーツビジネス科	2年	40人	80人
アスレティックトレーナー科	3年	40人	120人
スポーツ保育科	3年	40人	120人

<客観的な指標の算出方法>

客観的な指標の算出方法
全履修科目の評定（5点法で示されたもの）の和を科目数で除したものを「評定平均」とし、年に2回（期末ごとに）一覧管理を行うことで、成績の分布状況を把握する。

<卒業要件について>

卒業要件	
本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。卒業に必要な単位数は科目配当表に示すとおりとする。	
スポーツトレーナー科	トレーナーとして、主に個に対応するレジスタンストレーニングやコンディショニング、及び機能改善に必要な知識・技術を身につけ、それらのスキルを活かして、幅広い層・目的に応じたトレーニングプログラムの作成、指導ができる。
スポーツインストラクター科	インストラクターとして、主にグループレッスンに必要な知識・技術を身につけ、人々を惹きつける魅力あるレッスンを展開し、健康づくりのためのプログラム提供と運動指導ができる。
スポーツビジネス科	あらゆるスポーツの特性や、スポーツ業界に関わる幅広い知識を有し、社会や消費者が求める商品の開発や提案ができる。また、スポーツを通じて健康や感動を提供するためのイベントの企画や運営ができる。
アスレティックトレーナー科	アスレティックトレーナーの資格を取得し、アスリートだけでなく、健康増進や機能改善を目的としたクライアントに対し、アスレティックトレーニング指導ができる。
スポーツ保育科	幼稚園や保育園、幼児体育施設などの先生として、こどもの発育発達を理解し、運動遊びや体操指導を通して、こどもの個性・成長を総合的にサポートすることができる。

<取得可能な資格について>

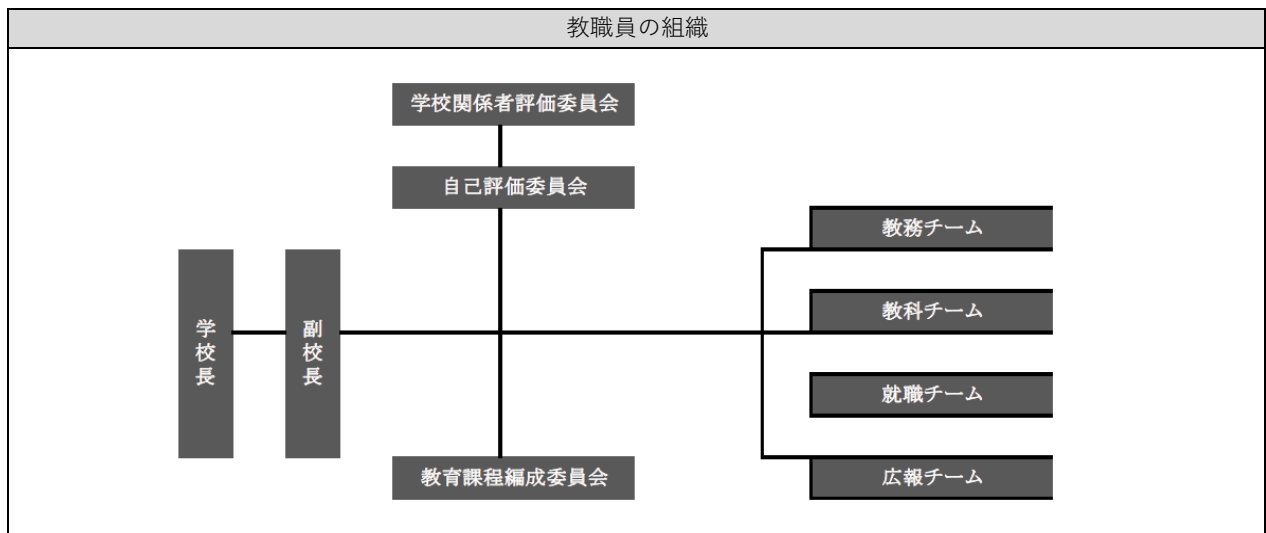
取得可能な資格	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-sports/jobdata/skill_introduction.html
---------	---

<卒業後の主な進路について>

就職実績	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-sports/jobdata/jobdata.html
------	---

③教職員

専任教員	21
兼任教員	44
事務職員	9



<教職員の専門性について>

名前	専門分野	資格・職歴等
杉本 圭丞	アスレティックトレーナー	アスレティックトレーナー・柔道整復師柔道整復師・Honda HEAT(ラグビー) トレーナー
田上 昌伸	ストレングス&コンディショニング	JATI-ATI・NSCA-CPT・健康運動指導士・美濃加茂高校バスケットボール部 コンディショニングコーチ
伊藤 舞子	エアロビクス	健康運動指導士/日本フィットネス協会 エグザミネーター/健康運動実践指導者実技認定評価委員
水藤 英司	スポーツビジネス	健康運動指導士 日本コンタクト協会公認パートナービジネスコンサルタント 一般社団法人日本スポーツ支援機構代表理事

④キャリア教育・実践的職業教育

キャリア教育への取組	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-sports/jobdata/support.html
実習実技への取組	<p>カリキュラムに則した現場実習を行い、より実践的な教育機会としている。</p> <p><スポーツインストラクター科 インターンシップ実習I> 40時間の体験実習を行う。フィットネスクラブ、スイミングスクール、スポーツショップ等の業務についての理解を深め、基礎的な知識・技術を習得することを目的とする。学校と実習先との事前打ち合わせ、担当教員による実習期間中の訪問等により、適宜課題発見等のケアを行っていく。</p> <p>終了後には振り返りを実施し、評価に基づいたフィードバックを行うものとする。</p>

⑤様々な教育活動・教育環境

学校行事	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-sports/schoolguide/year.html
------	---

⑥学生の生活支援

生活上の諸問題（中途退学、心身の健康）への対応

担任制を取り、心身の健康問題、学校生活上の諸問題について早期発見・対応できるよう、日々個人面談等を実施している。また出欠席の状況等について、必要に応じて適宜保護者とも共有を図り、連携体制を整えている。また希望者に対してはスクールカウンセリングを行えるよう、カウンセラーを配置している。

⑦学生納付金・就学支援

学生納付金	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-sports/assets/media/pdf/nagoya_RS_1_2024.pdf
就学支援	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-sports/guidelines/

⑧学校の財務

事業報告書	https://www.sanko.ac.jp/pdf/share/disclosure/9.pdf
-------	---